



技術資料

水稲用一発処理除草剤

サラブレッド ^{カ イ} KAI[®]

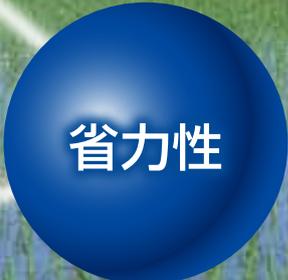
1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ

®は協友アグリ(株)の登録商標です。



高性能

効果も! コストも!
使って爽KAI!!



省力性



低コスト

3つの有効成分が、新しい時代のニーズ 高性能・省力性・低コストに応えます。

ピラクロニル

ノビエを始め広葉・カヤツリグサ科雑草等、幅広いスペクトラムを有しています。
SU抵抗性雑草に対しても幅広く、優れた効果を示します。

各種雑草への除草効果 1999～2007年 協友アグリ(株)社内試験まとめ

	一年生雑草												
	タイヌビエ	イヌビエ	ヒナガヤツリ	ホタルイ	コナギ	ミスアオイ	アゼナ類	キカシグサ	ミゾハコベ	ホリヒメハギ	タカサブロウ	タウコギ	クサネム
除草効果	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
枯殺葉令	2葉期	2葉期	始期	1葉期	2葉期	2葉期	1対期	1対期	1対期	1.5葉期	1葉期	始期	1葉期

	SU抵抗性雑草						多年生雑草		その他
	ホタルイ	コナギ	ミスアオイ	アゼナ類	アゼトウガラシ	オオアブメ	ミスガヤツリ	アシカキ	アオウキクサ
除草効果	●	●	●	●	●	●	◎	□	●
枯殺葉令	1葉期	2葉期	2葉期	1対期	1対期	1対期	—	—	始期

試験葉量：20g a.i./10a

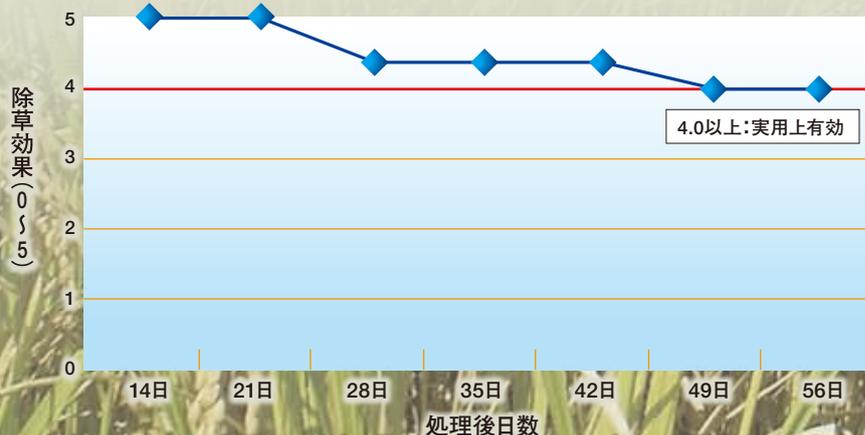
残草量：対無処理比 ●：0～t% ◎：～10% ○：～20% □：～40% △：～60% ×：～61%以上

枯殺葉令：ピラクロニル単剤としての枯殺葉令 —：完全枯死には至らないが抑制する

オキサジクロメホン

ノビエに対して長い残効性を示します。

ノビエへの残効性 2007年 全農営農技術センター



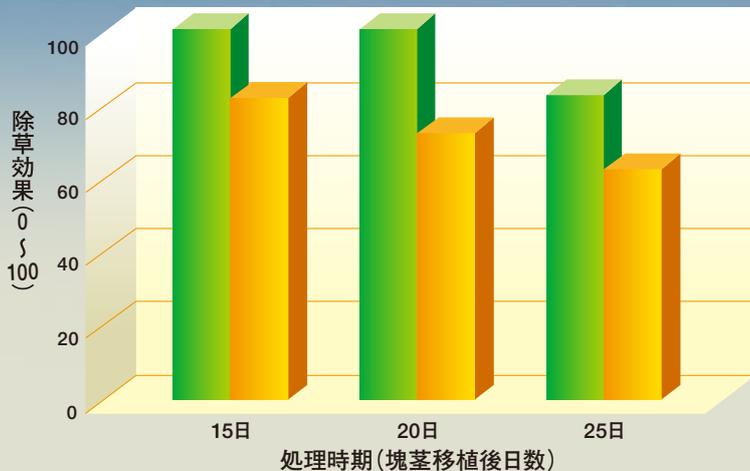
試験規模：ポット試験
葉量：3g a.i./10a
播種：薬剤処理後7日間隔で所定日に
催芽種子を播種
調査：播種28日後観察調査

イマズスルフロン

多年生雑草を始め、幅広い雑草に高い効果を示します。

ミズガヤツリへの効果

1990年 住友化学(株)社内試験



■ : イマズスルフロン
■ : 対照剤A

試験規模: 圃場試験
薬量: イマズスルフロン...9g a.i./10a
対照剤A...7.5g a.i./10a
塊茎移植: 催芽塊茎を土壌表面に置床
処理: 移植後15日(草丈10cm)
移植後20日(草丈20.4cm)
移植後25日(草丈26.7cm)
調査: 各処理時期の56日後に観察調査

サラブレッドKAIの殺草スペクトラム

雑草名	ノビエ	カヤツリグサ	コナキ	アゼナ類	その他広葉	マツバイ	ホタルイ	ウリカワ	ミズガヤツリ	ヒルムシロ	セリ	藻類
移植時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ノビエ2葉期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ノビエ2.5葉期	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

除草効果 ○:極大 ○:大 △:中 ×:小~無

有効成分の物理化学的性状

一般名	ピラクロニル	オキサジクロメホン	イマズスルフロン
化学名	1-(3-クロロ-4,5,6,7-テトラヒドロピラゾロ[1,5-a]ピリジン-2-イル)-5-[メチル(プロパ-2-イニル)アミノ]ピラゾール-4-カルボニトリル	3-[1-(3,5-ジクロロフェニル)-1-メチルエチル]-3,4-ジヒドロ-6-メチル-5-フェニル-2H-1,3-オキサジン-4-オン	1-(2-クロロイミダゾ[1,2-a]ピリジン-3-イルスルホニル)-3-(4,6-ジメトキシピリミジン-2-イル)尿素
化学構造式			
性状	白色固体	白色結晶	白色結晶性粉末
融点	93.1℃~94.6℃	147℃~149℃	198.0℃
水溶解度	50.1ppm(20℃)	0.15ppm(20℃)	155.6ppm(20℃)
蒸気圧	1.9x10 ⁻⁷ Pa(25℃)	16x10 ⁻⁸ Pa(25℃)	6.3x10 ⁻⁴ Pa(25℃)
脂溶性	n-オクタノール水分分配係数 2.18(25℃)	n-オクタノール水分分配係数 3.7(25℃)	n-オクタノール水分分配係数 1.59(22℃)
人畜毒性	普通物*	普通物*	普通物*
急性経口毒性	ラットLD50 ♂4,979mg/kg ♀1,127mg/kg マウスLD50 ♂1,044mg/kg ♀881mg/kg	ラットLD50 ♂♀>5,000mg/kg マウスLD50 ♂♀>5,000mg/kg	ラットLD50 ♂♀>5,000mg/kg マウスLD50 ♂♀>5,000mg/kg
急性経皮毒性	ラットLD50 ♂♀>2,000mg/kg	ラットLD50 ♂♀>2,000mg/kg	ラットLD50 ♂♀>2,000mg/kg
魚毒性	コイ LC50>28ppm(96hr) ミジンコ EC50>16.3ppm(48hr)	コイ LC50>8.6ppm(96hr) ミジンコ EC50>9.7ppm(48hr)	コイ LC50>100ppm(96hr) ミジンコ EC50>100ppm(48hr)
含量	1キロ粒剤 2.0% フロアブル 3.8% ジャンボ 5.0%	0.4% 0.57% 0.75%	0.9% 1.7% 2.25%

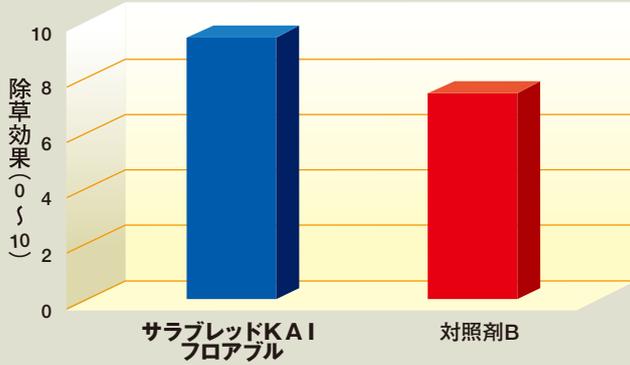
*毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

高性能

ノビエを始めSU抵抗性雑草等幅広い雑草に優れた効果を示します。

ノビエへの除草効果(2.5葉期処理)

2012年 協友アグリ(株)社内試験



サラブレッドKAI
フロアブル

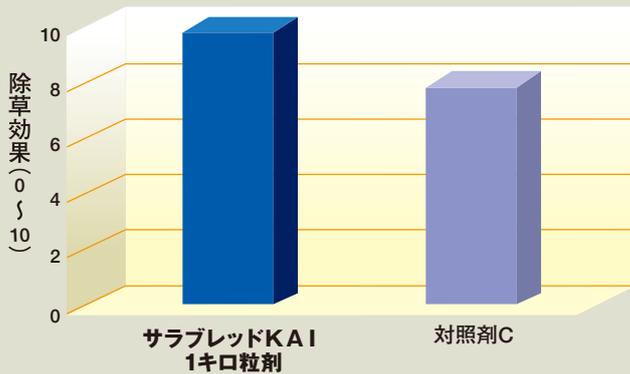


対照剤B

試験規模:ポット試験
薬量:サラブレッドKAIフロアブル...500mℓ/10a
対照剤B...1kg/10a
調査:処理20日後観察調査

SU抵抗性コナギへの除草効果(2葉期処理)

2012年 協友アグリ(株)社内試験



サラブレッドKAI
1キロ粒剤



対照剤C

試験規模:ポット試験
薬量:サラブレッドKAI1キロ粒剤...500g/10a
対照剤C...500g/10a
*標準量の半量での試験
調査:処理45日後観察調査

ノビエに対して長い残効性を示し、水稻への安全性が高く田植同時処理に適しています。

ノビエに対する残効性

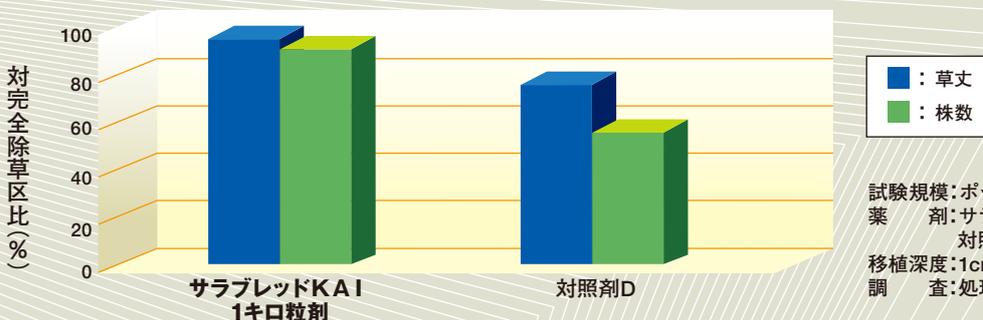
2012年 協友アグリ(株)社内試験



規模:ポット試験
薬剤:サラブレッドKAIフロアブル
薬量:500mℓ/10a
播種:薬剤処理後所定日に催芽種子を播種
調査:播種30日後観察調査

±0処理での水稻への安全性

2013年 協友アグリ(株)社内試験



試験規模:ポット試験
薬剤:サラブレッドKAI1キロ粒剤...1kg/10a
対照剤D...1kg/10a
移植深度:1cm 無漏水
調査:処理25日後に草丈、株数を調査

各種雑草への除草効果

2010～2012年 日植調委託試験まとめ(1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボ)

SU抵抗性
雑草を

解決



ノビエ他SU抵抗性雑草に効く成分
「ピラクロニル」配合



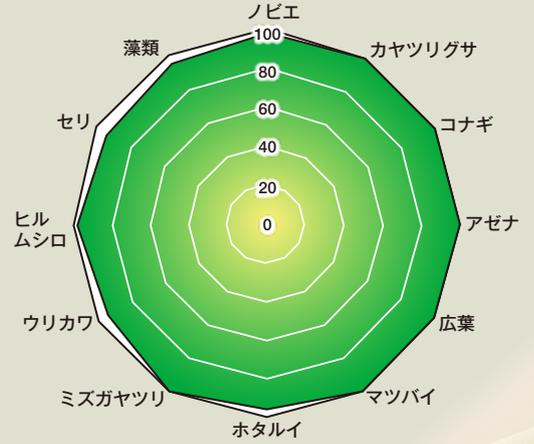
SU抵抗性コナギ多発田



SU抵抗性アゼナ多発田



サラブレッドKA1使用田



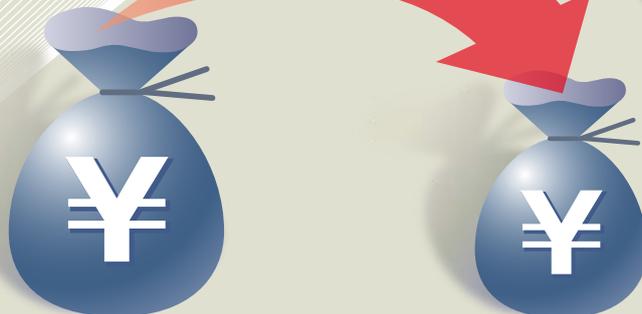
近年問題となっている

「SU抵抗性コナギ」「SU抵抗性アゼナ」

にも、サラブレッドKA1は高い効果を発揮します！

低コスト

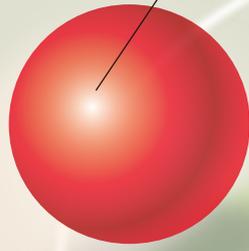
「お求め易い価格」で低コスト農業に貢献します。



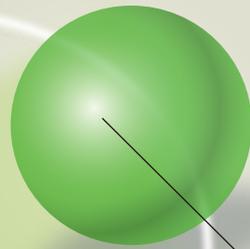
コスト削減!



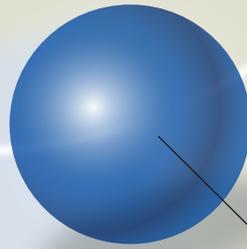
高性能



低コスト



省力性



省力性

1キロ粒剤、フロアブル(田植同時処理が可能)に加えて
ジャンボ剤(移植直後処理が可能)も揃い、様々な使い方に対応できます。



サラブレッドKAIの上手な使い方 (移植水稻)

代かき 田植 5日 10日 15日 20日 30日



ノビエを始めSU抵抗性雑草や
難防除雑草に幅広く効く!

初期除草剤との組合せで田植後30日まで使える

田植同時処理にも対応!

田植同時処理での注意事項

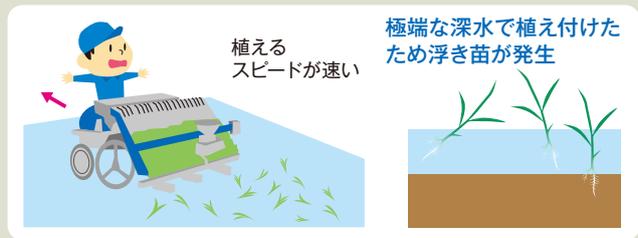
田面の均平度を良くする!

代かきを丁寧にいき、高低差をできるだけ無くしてください。薬剤が落ちた所の水深が浅いと、拡散が妨げられ、薬剤が高濃度で稲に吸収されやすくなります。



浅植え、浮き苗は禁物!

田植機の速度が速すぎたり、落水が充分でない状態で田植を行うと、浅植えや浮き苗が生じ、根に薬剤が触れやすい状況となります。注意して丁寧に田植作業を行ってください。



散布後は速やかに入水!

田植後は速やかに入水し、田面露出が無いようにしっかりと湛水してください。田植後、速やかに入水しないと薬剤が拡散しにくくなり、薬害や効果不足の原因となります。特にフロアブル剤は、露出面に落ちたまま放置すると固結し、拡散しなくなるので注意してください。



稲ワラ残渣などにも注意!

圃場に稲ワラや麦ワラが残っていると、風下の畦畔ぎわに吹き寄せられ、その上から植え付けることとなります。結果的に植え付け不良で、薬剤が根にふれやすい状態となります。このような残渣がある場合は、取り除いてから田植作業を行ってください。



極端な砂質土壌、減水深の大きな圃場(減水深3cm/日以上)土の戻りが悪い圃場は要注意!!

このような水田では植え戻りが悪く、根が露出しやすくなります。また縦の浸透が強く、除草剤が根に触れやすくなります。このような圃場では田植同時処理を避けてください。



3剤型揃って、
使いやすくなりました。

適用雑草の範囲及び使用方法

サラブレッドKAI 1キロ粒剤

登録番号 第23119号

■有効成分(一般名) ピラクロニル:2.0% オキサジクロメホン:0.4% イマズスルフロン:0.9% ■人畜毒性:普通物*

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10a当り使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数	イマズスルフロンを含む農薬の総使用回数	適用地帯	雑草名	散布適期
移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイ、コウキヤカラ、アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	砂壤土～埴土	1kg	1回	田植同時散布機で施用	2回以内	2回以内	2回以内	関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州の普通期及び早期栽培地帯	ノビエ	2.5葉期まで
		移植直後～ノビエ2.5葉期ただし、移植後30日まで				ホタルイ					2葉期まで	
直播水稲	水田一年生雑草及びホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ	移植直後～ノビエ2.5葉期ただし、移植後90日まで	砂壤土～埴土	1kg	1回	湛水散布	2回以内	2回以内	2回以内	関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州の普通期及び早期栽培地帯	ミズガヤツリ	2葉期まで
											ウリカワ	2葉期まで ※関東・東山・東海は発生始期まで
											ヒルムシロ	発生期まで
											セリ	再生前～再生始期まで
										アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前	

サラブレッドKAI フロアブル

登録番号 第23118号

■有効成分(一般名) ピラクロニル:3.8% オキサジクロメホン:0.57% イマズスルフロン:1.7% ■人畜毒性:普通物*

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10a当り使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数	イマズスルフロンを含む農薬の総使用回数	適用地帯	雑草名	散布適期
移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ、ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ、アオミドロ・藻類による表層はく離(関東・東山・東海)	移植時	砂壤土～埴土	500ml	1回	田植同時散布機で施用	2回以内	2回以内	2回以内	関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州の普通期及び早期栽培地帯	ノビエ	2.5葉期まで
		移植直後～ノビエ2.5葉期ただし、移植後30日まで				原液湛水散布					ホタルイ	2葉期まで
											ミズガヤツリ	2葉期まで
											ウリカワ	2葉期まで ※関東・東山・東海は発生始期まで
											ヒルムシロ	発生期まで
											セリ	再生前～再生始期まで
											アオミドロ・藻類による表層はく離	発生前

サラブレッドKAI ジャンボ

登録番号 第23339号

■有効成分(一般名) ピラクロニル:5.0% オキサジクロメホン:0.75% イマズスルフロン:2.25% ■人畜毒性:普通物*

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10a当り使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数	イマズスルフロンを含む農薬の総使用回数	適用地帯	雑草名	散布適期
移植水稲	水田一年生雑草及びマツバイ(関東・東山・東海)、ホタルイ、ミズガヤツリ、ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	移植直後～ノビエ2.5葉期ただし、移植後30日まで	埴土～埴土	小包装(バック)10個(400g)	1回	水田に小包装(バック)のまま投げ入れる	2回以内	2回以内	2回以内	関東・東山・東海、近畿・中国・四国の普通期及び早期栽培地帯、九州の普通期栽培地帯	ノビエ	2.5葉期まで
											ホタルイ	2葉期まで
											ミズガヤツリ	2葉期まで
											ウリカワ	2葉期まで ※関東・東山・東海は発生始期まで
											ヒルムシロ	発生期まで
											セリ	再生前～再生始期まで

*毒物及び劇物に該当しないものを指している通称

⚠ 使用上の注意事項

3製剤に共通する注意事項

- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業及び植え付けは丁寧に行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特に丁寧にしてください。
- 軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田及び砂質土で漏水の大きな水田(減水深2cm/日を越える水田)では、薬害を生じる恐れがあるので使用しないでください。
- 著しい降雨が予想される場合には、除草効果が低下する恐れがあるので使用を控えてください。
- 移植水稲を栽培した後に、いぐさを栽培する水田では使用しないでください。
- 本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

1キロ粒剤の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
- 田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、完全に防除してから使用してください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で均一に散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

フロアブルの注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 田植前に生育したミズガヤツリには効果が劣るので、完全に防除してから使用してください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で本剤が水田全面にいきわたるように散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。

ジャンボの注意事項

- 散布に当たっては、水の出入りを止め5～6cm湛水状態に保ってください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 本剤は小包装(バック)のまま、10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- バックに使用しているフィルムは水溶性なので、ぬれた手で作業したり、降雨で破袋することがないように注意してください。
- 藻や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので使用をさけてください。

本資料の記載内容は2013年10月現在の登録内容に基づいています。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空容器・空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。